



# NST通信

## お知らせ

◆委員会 15時00分～ 大会議室  
11月8日(水)

◆勉強会 17時40分～ 大会議室  
11月8日(水)

◇症例検討会(栄養管理室) ◇論文紹介(N2)

◇情報提供 超 高濃度栄養食の最近の話題 テルモ株式会社



高齢者社会である近年、「サルコペニア」「ロコモティブシンドローム」「フレイル」といった言葉がメディアなどでもよく聞かれるようになりました。NST 介入患者の平均年齢は79.6歳(2016年度)と高齢であり、ほとんど要介護状態の患者です。今回のNST 通信では、「サルコペニア」「ロコモティブシンドローム」「フレイル」について解説します！

現状では広義で考えるのが良いようです。

## サルコペニア

狭義：加齢に伴う骨格筋肉量の低下

広義：全ての原因による筋肉量減少、筋力低下および身体機能低下

嚥下に関連した筋肉にサルコペニアを認めると、サルコペニアの摂食嚥下障害を生じることがある。



## ロコモティブシンドローム

立つ・歩くなど、人が日常的に行っている動きをコントロールするための器官や組織、すなわち運動器が衰えている、または衰えはじめていること。



## フレイル

高齢者が筋力や活動が低下している状態(虚弱)のこと。

サルコペニアやロコモティブシンドロームに加えて、認知機能や社会的な活動が低下した状態。ケアや支援などで改善が期待できる!

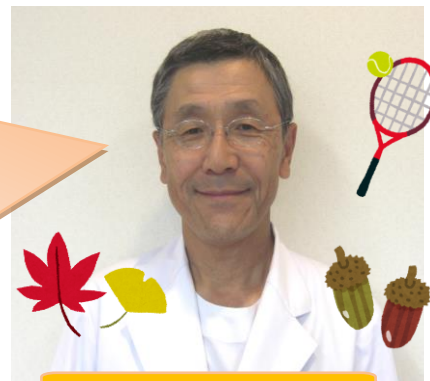


これらを放置することにより、**低栄養状態・要介護状態**につながり、**QOLが低下**します。

NST 介入患者にはすでにこれらに当てはまる方がほとんどです。

NST では廃用予防にリハビリのオーダーの提案や、リハビリテーション栄養の提案もおこなっています。

みなさんも今からしっかりと体作りをしていきましょう!



土本医師